

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↓ 取り組んでいきたい項目

事業所名: 医療法人景雲会 グループホームあずさ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	地域の中で家庭的な環境の下、その人がその人らしく暮らしていけるようなサービス支援をしてゆく。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	・今後も個々ネーム裏に記入してゆく。確認もしながら、サービス支援に取り組んでいく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	・今後も町の行事の参加、及びボランティアさんへの依頼を続けていく。 ・地域の中学生の受け入れをしていく。

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・現在、地域の高齢者等の暮らしに役立つような活動はしていないが、今後、カンファレンス等で話し合い、取り組んでいきたい。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・外部評価表は、事務所・前に掲示し、職員、家族等がいつでも見ることが出来るようにしている。	○	・報告書を参考に、改善すべき所は改善に取り組んでいる。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・地域代表者、市職員(包括支援センター)からの評価、要望、助言指導の意見を頂き、サービスの向上に役立っている。	○	・昨年度、運営推進会議の開催が少なく反省している。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・直接には、行っていないも、統括課長(ケアマネ)を通して、間接的に行っている。	○	・統括課長から、情報をもらい、今後も取り組んでいく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学んでいる。 ・現在、利用者さんの中には、活用するような方はいない。		今後も学ぶ機会があれば、参加していく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・スタッフは虐待の防止に努めている。		

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	統括課長、管理者、ホーム長が十分な説明を行い理解を得ている。	○	利用者、家族に十分な説明を今後とも行っていき、理解、納得を図ってゆきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・利用者、本人、家族の方が意見、苦情等を表せるよう、1F事務所前に意見箱を設置している。		管理者が苦情等の受け皿になっており、運営に反映されている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・月1回、あずさ便りを家族に郵送している。又、家族が面会時、本人の暮らしぶり、健康状態等を報告している。	○	今後も、便りと面会時に、個人の状況・暮らしぶり・健康状態を話していきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1F事務所前に意見箱を設置している。管理者が苦情等の受け皿になっており運営に反映させている。	○	行事等で、御家族が参加する機会の時、行事終了後に意見・不満苦情等の話し合いを作っていく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・月1回のカンファレンス時、スタッフから意見や提案をきくようにしており、後、必要な件、話し合いの内容を管理者に伝えている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・1日3名の職員を確保している。 ・都合により、どうしても2名の場合、1Fあるいは2Fのスタッフを配置している。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・2年間異動もなく、同じスタッフで、支援援助を行っている。	○	スタッフ間での信頼関係作り、利用者さまの情報を共有し合い、職場内の環境整備等に努力し、和やかな雰囲気のまま、サービスを提供していく。

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○	今後も、サービスの質の向上に取り組むため研修、講座、併設病院での勉強会には積極的に参加していく。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○	研修会、交流会にはできる限り、参加していく予定です。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、他のサービ ス利用も含めた対応に努めている	家族から、話をきき、他のサービス利用の説明もしてい る。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用 するために、サービスをいきなり開始するの ではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気 に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工 夫している	・本人、家族に入所前、見学をしてもらっている。本人 が納得してから、入所するように伝えている。	○	本人が安心して納得した上で、サービスを開始し、職員 と他利用者と顔合わせなどを行っていく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本 人から学んだり、支えあう関係を築いている	・行事、レクレーションを通じ、一緒に過ごし自分の知らない こと等をきいたりしている。又、調理をいっしょに行い、 煮方、切り方などを教えてもらっている。	○	利用者さんに対し、自分より年上ですので、言葉つか いに注意し、利用者さんから人生を学んだりしてい きたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えて いく関係を築いている	・行事に参加して頂き、いっしょに(利用者)行動しても らったり、面会を多くしてもらえようような声かけをしてい る。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努 め、より良い関係が築いていけるように支援し ている	・面会の回数を増やしてもらい、本人と家族が話し合 える場に作り、良い関係がつけられるようにしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努め ている	・馴染みの人達の面会は歓迎している。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤 立せずに利用者同士が関わり合い、支え合 えるように努めている	行事、レクレーションなどを通じ、スタッフが間に入り、話題を なげかけたりして、利用者同士が関わり合えるようにし ている。		

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○	今後も、ひとり、ひとりの思いや暮らし方の希望、意向などを本人、家族からききとりを行っていく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	○	月1回のカンファレンスを継続し、個々に合った介護計画を作成していく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している		

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々の様子、ケアの方法、気づきや工夫を個別に毎日、記録を行っている。勤務に入る前には、個別記録に目を通し、情報を共有している。実践に生かし、介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・併設の春日居リハ病院・外来へ内服の依頼、急変時には受診を依頼しており、医療処置を受けている。重度化した場合における対応についても入所時、説明を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・民生委員さんからは助言、意見を頂いている。 ・行事等でボランティアさんに依頼している。 ・警察署、消防署とのかかわりが薄い。 ・中学生の職場体験学習の依頼中。	○	今後、民生員、ボランティア、警察・消防、文化・教育機関等との関わりを深くし、協力していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	統括課長(ケアマネ)が他のケアマネジャーやサービス事業者との話し合いを行っている。	○	統括課長より、情報を受けている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・統括課長が必要性に応じて、対応している。	○	統括課長より、情報を得ている。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本人及び家族等の希望を大切にし、かかりつけ医の受診をしている。	○	今後も本人、家族の希望を大切にして継続していきたい。

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・家族が専門医等へ送迎し受診している。 ・春日居リハビリ病院の医師外来受診して、指示や助言をもらっている。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	契約看護師が週何回か来所し、気軽に相談し、日常の健康管理や医療の活用を行っている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院した場合、TEL連絡、及び必要時には出向き、状況等をさき、早期に退院できるよう相談に努め、情報交換を行っている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・重度化した場合におけるマニュアルがあり、入所時、説明を行い全員で方針を共有している。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・マニュアルがあり、できること、できないことを見極め、かかりつけ医とともに、チームとして取り組んでいる。	○	かかりつけ医とともに、急変時の変化に備えて、内服の確認及び何通りかのパターンで、医師、スタッフでシミュレーションを合同カンファ時に行っている。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	介護サマリーにて、情報を交換して住み替えによるダメージを防いでいる。		

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声かけする時には、穏やかにゆっくりと話すようにしている。対応にも本人のプライバシーに注意しなから対応している。職員の言葉づかい、態度、対応の悪さの時は、その都度、注意、指導をしている。	○	今後も、ひとり、ひとりの誇りを尊重し、プライバシーの確保を徹底していく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・利用者さんの力に合わせ、声かけをしている。(本人のできること、できそうな事の見きわめて、支援している)		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・何に対しても、本人にまかせており、無理意地はしていない。	○	本人の気持ちを大切にしていく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・家族が行きつけの美容院に連れていってもらったり、移動美容室を利用している。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・献立をいっしょに考えたり、夕食当番を決めて、その日はその人が主体になり、調理をいっしょに(職員)作っている。片付けも職員といっしょに行っている。	○	献立作成、食事準備、片付け等、利用者さんと協力しながら行っていく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・本人の望む飲み物、おやつを購入し好きな時間に食べている。		

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	定期的にトイレの声かけをおこなったり、トイレ誘導を行っている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・毎日、入浴の声かけを行っている。	○	曜日、時間帯を決めず、毎日入浴できるように支援していく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・昼食後は、ひとりひとりが自室に戻り、休憩したり、リビングにてテレビを観たりしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・掃除分担、調理等の役割をこなしている(ゴミ捨て、選択干し、畳むなど) ・外に出る声かけを行い、いっしょに出掛けている。	○	張り合いのある毎日を過ごして頂けるよう、支援していく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・ホームで管理しており、本人の希望があった時、日用品を購入する時におこづかい帳から出している。出し入れ時、ノートに記入している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・天候のよい日には、声かけをし、毎日散歩に出掛けている。	○	気候のよい日、夏は午前中の涼しい時間、冬場は日中の暖かい時に、散歩の声かけを行っていく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・利用者の中には、友人、家族と出掛けている。		

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者さんが自分で電話をかけている。電話希望がある場合、事務所の電話にてかけている。 ・手紙も書いて、ポストに投かんしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・家族、知人、友人の訪問は歓迎している。職員は湯茶の接待をしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束をしてはいけない事は理解している。 ・ひとりだけ、臥床時、4点柵(ベット)にしているが離床を促しているため、車イス乗車など歩行介助している時間を多くとっている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・居室には鍵をかけていない。 ・1F入口ドアは、ロック方式になっている。 日中は開放、西側窓も開放している時間を多くもつ努力している。	○	日中は、開放しておくよう、今後も努力していく。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・昼は利用者さんの居場所を確認しており、夜間はラウンド毎、訪室し、所在確認。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・ハサミ、カッター類は、事務所で保管している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・併設病院での事故防止研修会に参加し、知識を学んでいる。		

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・消防署にて、職員は救急法を拾得している。併設病院にての研修にも参加している。	○	今年2年目なので、消防署にて再度受講したいと考えている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・春日居リハ病院にて、年2回、訓練を受けている。	○	今後も、年2回の訓練を受けていく。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・利用者さんに、何か起こった場合は家族に連絡し、説明を行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・週1回のバイタルチェックを行っている。又、利用者の様子が変わっている場合、バイタルチェック及び問いかけを行い、必要時、日中、春日居リハ病院外来にて受診を行っている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・利用者さん、ひとり、ひとりの内服薬について内容、用法、用量を記載し、事務所に貼っている。確認できる体制になっている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・毎朝、便の確認を行っており、便秘時には、下剤を使用している。 ・飲食物に対しては、量と水分多めにとるように促し、朝のTV体操及び散歩の声かけをしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・義歯の場合、義歯の洗浄後、ポリドントにつけておくよう指導している。 ・自分でみがく事ができていない人は、職員が口腔ケアを行っている。		

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・利用者さん、ひとり、ひとりに合わせて、食事量、形態を考へて、出している。 ・水分は毎食事とAM、PM、お茶時飲用してもらっている。	○	今後も利用者さま、ひとり、ひとりの状況に合わせた、食べる量、水分量の栄養バランスを考へた支援をしていく。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・外出時、食事前、調理をする時には、手洗い、うがいを励行している。 ・感染症に対し、マニュアル作成している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・衛生管理マニュアルがある。 ・食材には、必ず、火を通し使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関、入り口にはお花を飾ったり、お花を植えたりしている。野菜も植え、四季を感じてもらっています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には、お花を飾ったり、廊下椅子を置き、リビングにはソファなど置いてあり、いつでも、くつろげる様に対応している。台所、食堂には、動物、お花、写真など貼ってある。	○	利用者さんがくつろげるように、工夫をして、四季を感じてもらえるようにしていきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・今あるこのスペースで、CDをかけて、利用者同士が話しをしたりしている。		

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時、本人の馴染みの物品を持ち込んでもらい、傍に置いている。	○	今後も、本人、家族と相談しながら、馴染みの物を傍に置いて頂けるようにする。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	エアコンは、なるべく使用せず、窓、天窓を開け、空気の入れかえをして、調節している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・廊下、トイレ、ふろ場等に手すりをつけてあり、段差がない様にし、利用者さんが安全に暮らせるようにしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・できる事を声かけを行い、できるだけ達成感が得られるように支援している。	○	皆のため役立っているんだと思って頂ける支援をしていく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・お花を植えたり、野菜を植えたりして楽しんでいる。又、はち植えなどを置いている。		

事業所名：医療法人景雲会 グループホームあずさ

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ 1 F、2 F 毎のカフェンスと合同カフェンスを毎月行っており、利用者さまの情報を共有している。
- ・ 地域に貢献できるように、取り組んでいる。
- ・ 家族、知人、友人、又、見学者等がいつでも来れる様に体勢を整えている。